

## 継続が 予防につながる がん検診

2017年度 日本対がん協会 がん征圧スローガン

日本で 2016年にがんで亡くなった方は、37万2986人。

**死亡総数の28.5%を占めて、死因第1位**でした。

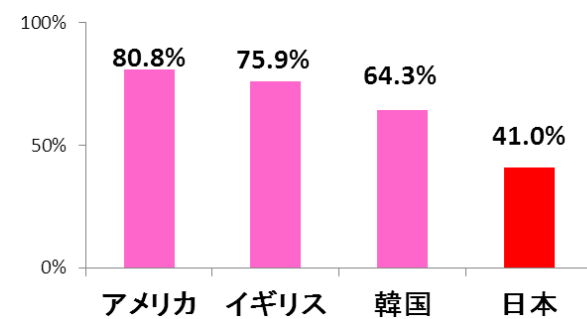
その一方、日本のがん検診受診率は低く、子宮がん検診・乳がん検診では、欧米と比べて**約40%と低い状態**です。

このため、国ではがん検診の費用助成・受診勧奨対策を行なっています。

**がん検診はお住まいの自治体で申し込み受け付けをしています。**

**当センターでも可能ですので、ぜひご相談を！**

女性の乳がん検診受診割合(50-69歳)



OECD, OECD Health at a Glance2015,Nov2015 (一部改変)

## 厚労省が検診を勧める「がん」は5つ！

検診で早期発見ができ、治療で死亡率が低下します



みやぎ大崎 ぶつづつ共和国  
広報大臣  
ピコ山崎さん

### 肺がん

胸部レントゲン写真で判定します。



### 子宮がん

細胞診検査で判定します。



### 大腸がん

便検査で判定します。



### 乳がん

年齢により乳腺超音波か、乳房レントゲン検査で判定します

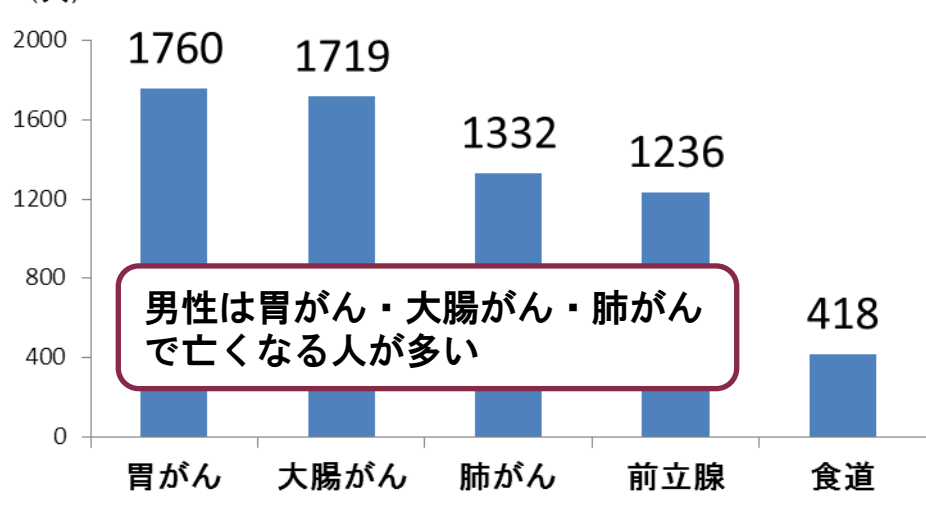


### 胃がん

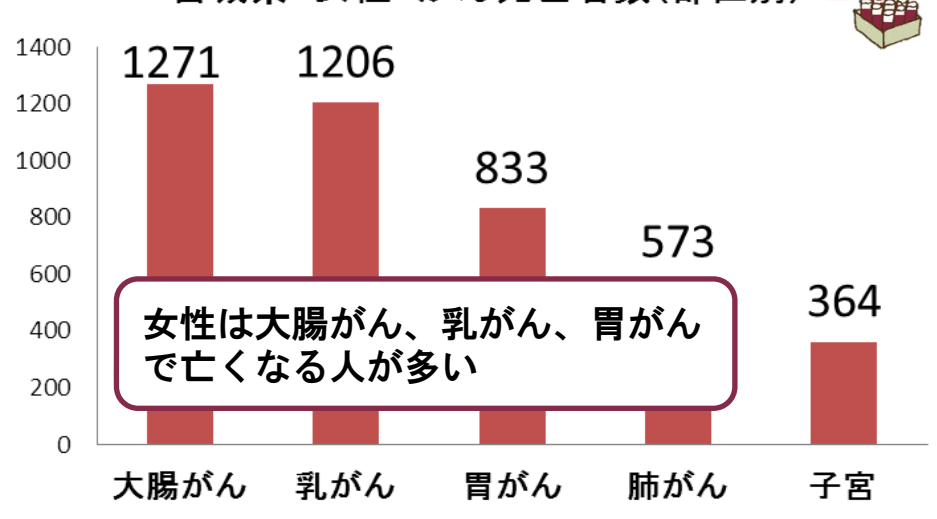
胃カメラ・胃透視検査で判定します。



宮城県 男性 がん死亡者数(部位別)



宮城県 女性 がん死亡者数(部位別)



平成27年度 宮城県人口動態報告より (一部改変)

## 高濃度乳房の乳がん検診

健康管理センター 放射線室 半田技師長

日本人の5~8割の女性は乳腺密度が比較的高い「高濃度乳房」とされています。

国は40歳以上の女性に2年に1度のマンモグラフィー検診をすすめています。このような高濃度乳房の方のマンモグラフィーでは乳腺の白い影に隠れてがんをみつけにくい場合があるといわれています。そこで検診の新たな選択肢として乳腺超音波との併用が期待されています。

超音波検査は乳腺と腫瘍の差別化が比較的容易であり、超音波検査を併用した場合の乳がん発見率はマンモグラフィーだけの場合の1.5倍と超音波検査がマンモグラフィーの弱点を補う可能性が報告されています。現在、厚労省はJ-STARTなる国家プロジェクトを立ち上げ、マンモグラフィーと超音波検査を併用検査の有用性検証を行っており、より良い乳がん検診の実現が期待されています。